

報告

第 43 回 技術士全国大会(横浜)
創立 65 周年記念大会報告

長 井 智 典

1. はじめに

第 43 回技術士全国大会は、2016 年 11 月 13 日(日)～16 日(水)の 4 日間の日程で、創立 65 周年記念大会と言うことで統括本部が担当し、20 年振りに横浜市で開催されました。全国からの参加者数は約 550 名、北海道からは、28 名が参加しました。



写真-1 夜のみなとみらい 21

2. 大会の概要

(1) 大会のテーマ及び大会宣言

今回のテーマは、「技術士の挑戦～世界・日本の持続的成長を目指して～」でした。2015 年 9 月の国連採択「2030 アジェンダ」が掲げる持続的成長を目指して、技術士がどのような貢献ができるのか、また貢献すべきかを考える機会とすることを目指しました。

大会宣言は、男女共同参画推進委員会の推薦を受けた古賀沙織技術士(資源工学部門)により宣言されました。内容は次のとおりです。

私たち技術士は、創立 65 周年の節目の年に、日本を代表する貿易港として世界の産業の発展とともに成長してきた横浜の地に集いました。先人たちの偉業を受け継ぎ、今起きつつある社会環境の変化に適応し、全世界が持続可能な成長を実現するために、以下の通り挑戦し続けることを、ここに宣言いたし

ます。

- 1 自然に対する畏怖の念を忘れず、防災、減災、環境保全技術の強化を進め、自然と人との共生を目指します。
- 2 各分野での技術を高めるとともに、社会における技術に対する理解と信頼の向上に努め、年齢、性別、文化の違いなどに関わりなく全ての人が安心して参画できる社会のユニバーサル化に貢献します。

(2) 会場

大会会場は、1980 年代から都市再開発が進められているみなとみらい 21 にあるパシフィコ横浜で、周辺地域の発展を実感することができました。



写真-2 パシフィコ横浜(アネックスホール)

(3) スケジュール

【11 月 13 日(日)】

- ・第 12 回全国防災連絡会議
- ・第 4 回技術者倫理ワークショップ
- ・青年技術士の集い
- ・ウェルカムパーティー

【11 月 14 日(月)】

- ・第 1～第 5 分科会
- ・記念式典

- ・記念講演
- ・交流パーティー
- ・パートナーズツアー
- ・展示コーナー

【11月15日(火)】

- ・テクニカルツアー A、B、C(日帰り・1泊2日)

【11月16日(水)】

- ・テクニカルツアー C(1泊2日)

(4) 大会のポスターデザイン

今回の大会配布資料(冊子・CD)、手提げ袋、会場ポスターの全てに日本技術士会のポスターデザインが採用され、統一感が図られました。



図-1 ポスターデザイン

3. 全国大会

(1) 記念式典

記念式典は、パシフィコ横浜の会議センター5階に450名程の参加者を集め開催されました。西村正直大会運営委員長が歓迎の挨拶をされ、続いて、吉田会長の式辞、文科・国交各省並びに神奈川県知事・横浜市長からの祝辞、来賓紹介、祝電披露、分科会報告、大会宣言、記念講演と続きました。



写真-3 大会式典風景

(2) 分科会報告

式典前に開催された各分科会の報告が各座長より行われました。各分科会のテーマと報告概要は次のとおりです。

【第1分科会(防災)】「自助こそ災害対策の基本」

- ・東日本大震災、熊本地震の災害対応報告、基調講演の後、関連報告として「自助」のための技術士の挑戦事例3件が報告された。
- ・地域住民、企業、自治体は「自助」の取り組みを自ら実践しなければならず、技術士はそれを支援していく。また技術士も災害時に生き残る「自助」が必要。

【第2分科会(都市再生)】「都市の持続的成長に果たしてきた技術者の役割とその未来像」

- ・都市再生に関する基調講演及び2件の事例報告の後、テーマについて講演者及びパネラーによるパネル討論を実施。
- ・今後の都市再生に求められるキーワードは、「持続可能性」、「包容力」。
- ・基本的に国際的な都市環境に対して、人口減少でもがんばれば克服できる。

【第3分科会(環境五輪)】「東京五輪を契機に期待されている環境負荷の少ない社会にむけた技術の現状とその課題」

- ・テーマに沿った基調講演や話題提供、パネル討論を行い次の提言を発表。
1. 技術士は、東京五輪を契機とした「人と環境にやさしい、すべての人が主役となる新しい社会」の構築を支える技術者として責任をもつ。
 2. 技術士は、エネルギー・環境技術イノベーション、国際標準化、水素社会、サイバーセキュリティ、ヘルスケアなどがこれからの社会の重要な技術課題であることを認識し、その技術の確立と発展にあらゆる努力を結集させる。
 3. 技術士は、自らの専門とする技術分野だけではなく、異なる分野やさまざまな主体と積極的に協力し、新しい社会に欠くことのできない専門職技術者となるよう努める。

【第4分科会(グローバル展開)】「グローバル展開と技術者の人材育成」

- ・日本と世界の持続的成長にとって不可欠なグロー

バル展開について、アカデミックな立場、産業界の立場、そして日本技術士会の立場からの講演の他パネル討論を実施。

- ・グローバル技術者に求められる資質と能力は、「チームワーク力」、「レジリエンス」、「チャレンジ」、「スキルセット」、「言い回しと提案力」、「執着力」。

【第5分科会(男女共同参画)】「女性リーダーの育成の社会的課題」

- ・話題提供(講演)の後、女性技術者の育成、女性リーダーを育む環境整備を考えるために討論会を行って意見を交わした。
- ・イクボスを理解し、管理的立場が多い男性技術士へ向けての啓発の一助となることも目指した。

(3) 記念講演

記念講演は、エジプト考古学者(東日本国際大学学長、早稲田大学名誉教授)である吉村作治氏が「ハイテクで探る古代エジプトの謎」と題し講演されました。

発掘調査には事前に非破壊探査を行い、遺構がある場所を確かめてから発掘することを行っており、エジプト最古の大型木造船「第二の太陽の船」の発掘調査の時も電磁波探査レーダーや偏差重力計、更には人工衛星の画像処理も活用して、発掘を行ったそうです。また、発掘されたミイラをCTスキャンしてCG技術で復元するなど、吉村氏自身は、ハイテクに弱いのですが、考古学には最先端のハイテク技術が似合うと述べていました。

講演では、日本の職人による伝統技術とハイテクを組み合わせで行った「第二の太陽の船」の発掘調査で、その時に取り除いて仮置きした石を並べた写真を紹介されましたが、その石の大きさと要した年月の長さを教えられ、考古学のスケール感に驚かされました。

吉村氏は、怪我により暫く車いすの生活をされていたそうで、登壇時にゆっくりとステップを上げられましたが、講演が始まると立ちっ放しでいつものペースで、エジプトにおける現地調査の苦労話を交えながら面白おかしく語っていました。

なお、講演の様子は許可された方以外、撮影不可

でしたので本誌ではご紹介できません。お許し願います。

(4) 交流パーティー

交流パーティーは、アネックスホール2階の会場に移動し、立食形式で、300名弱の参加者を迎えて開催されました。吉田会長の開会挨拶を皮切りに、山東昭子参議院議員、足立敏之参議院議員の挨拶、神代文部科学省科学技術・学術総括官の乾杯により開宴となりました。

アトラクションは、国際都市横浜らしく中華獅子舞の伝統技能の踊りが披露され、獅子がステージを降りて会場の参加者とも触れ合い、楽しい時間を過ごしました。その後、中国本部の皆さんが壇上にあがり、次回の全国大会開催地(山口)の紹介を行って、パーティーは盛会のままお開きとなりました。



写真-4 交流パーティー大会場の様子



写真-5 北海道本部のみなさん



写真-6 中華獅子舞の勇壮な踊り

4. オプショナル行事

(1) ウェルカムパーティー

式典前日の11月13日には山下公園近くであり、横浜の港が一望できるレストラン「神奈川県民ホール6階、英一番館」にてウェルカムパーティーが開催されました。運営委員会の当初の予想を上回る参加者が集まり、会場では熱気の中、楽しい時間を満喫していました。

(2) テクニカルツアー A

日帰りのテクニカルツアー A は、「横須賀コース」と題して、有人潜水調査船『しんかい 6500』を有する海洋研究開発機構と横須賀軍港めぐりのツアー（参加者 27 名）でした。

海洋研究開発機構 (JAMSTEC) では見学时に運良く最新型の海底広域研究船「かいめい」が接岸していたので、じっくりと船内を見学できてとてもラッキーでした。その後、これも運良く整備点検中でカバーを外した有人潜水調査船「しんかい 6500」の実物を間近に見ることができました。



写真-7 研究船かいめい

取り外した浮力材（空気を閉じ込めたガラスビーズを固めたもの）を手にとった感触は、重い木材のようで不思議な感じでした。



写真-8 しんかい 6500

た。

横須賀海軍カレーの昼食後、三笠公園で戦艦三笠に乗船・見学した後、遊覧船で横須賀軍港めぐりを体験しました。最上艦橋で東郷平八郎司令長官が指揮を執った当時最新鋭の戦艦三笠と横須賀米軍基地に横付けしているレーダー満載のイージス艦を比較して科学技術の飛躍的な進歩を実感した次第です。

(3) テクニカルツアー B、C

日帰りのテクニカルツアー B は、「最新鋭クロノゲート見学と地上 350 メートル東京スカイツリー天望デッキ」、1泊2日のテクニカルツアー C は、「JAXA 相模原



写真-9 羽田クロノゲート

キャンパスとリニアモーターカー見学～世界遺産富士山を望む富士山河口湖温泉～」でした。北海道本部事務局は参加しなかったのですが、参加者の皆さん各々楽しまれたようです。



写真-10 リニアモーターカー試験場

5. おわりに

全国の技術士が一堂に会する全国大会は貴重な交流の場となっており、同伴者も一緒に参加される方も多数おられます。次回の全国大会は 2017 年 10/20 (金)～23 日 (月) に山口県山口市で開催されますので、今回参加されなかった方も是非一度、大会へご参加いただき、技術士の交流を深めていただければと思います。なお今回の参加報告は森副本部長との共同執筆（記念講演・テクニカルツアー A）でお届けしました。

長井智典 (ながい ともり)

技術士 (建設 / 総合技術監理部門)

日本技術士会北海道本部
事務局次長
株式会社ドーコン

